

Weekly report



株式会社 ミンカブ・ジ・インフォノイド
東京都東京都千代田区神田神保町3-29-1

為替週間展望＝ドル円は107～108円台で一進一退の動きか

[10月28日からの1週間の展望]

週間高低（カッコ内は日）			10月21日～10月25日		
	始 値	高 値	安 値	終 値	前週比
ドル・円	108.48	108.75(24)	108.25(23)	108.65	+0.20
ユーロ・ドル	1.1146	1.1179(21)	1.1093(24)	1.1107	-0.0060
=====					
国内株・金利／米国株・金利					
	終 値		前週末比		
日経平均株価	22,799.81	+307.13	日本10年債利回り	-0.138	-0.007
ダウ平均株価	26,805.53	+35.33	米10年債利回り	1.766	+0.012
=====					

<来週の主要経済統計等>

- 29日 米8月S & Pケースシラー住宅価格指数
米10月消費者信頼感指数
- 30日 日本9月小売業販売額
豪第3四半期消費者物価指数
スイス10月KOF先行指数
独10月雇用統計
米MBA住宅ローン申請件数
米10月ADP雇用統計
米国第3四半期国内総生産（GDP）速報値
独10月消費者物価指数速報値
カナダ銀行（BOC）政策金利
米連邦公開市場委員会（FOMC、29～30日）政策金利
パウエル議長記者会見
- 31日 日本9月鉱工業生産指数速報値
豪9月住宅建設許可件数
中国10月製造業購買担当景気指数（PMI）
日銀金融政策決定会合（30～31日）金融政策発表
日銀展望レポート発表
黒田日銀総裁記者会見
ユーロ圏9月雇用統計、ユーロ圏10月消費者物価指数速報値
ユーロ圏第3四半期域内総生産（GDP）速報値
米新規失業保険申請件数、米第3四半期雇用コスト指数
米9月個人所得・支出
カナダ9月鉱工業製品価格
米10月シカゴ購買部協会景気指数
- 1日 日本9月雇用統計、日本9月有効求人倍率
豪第3四半期生産者物価指数
中国10月財新製造業購買担当景気指数
スイス10月消費者物価指数、スイス9月小売売上高
米10月雇用統計
米10月ISM製造業景況指数、米9月建設支出

【前回のレビュー】ドル円は米中協議や英国のEU離脱報道に左右される可能性はあるものの、このところはネガティブな報道にも大きく崩れるようなことはなく、108円台を中心に底堅い動きとなりそうとした。

【F O M Cでは利下げに動くか】

英国では22日に欧州連合（E U）離脱修正案基本方針は可決したことで一歩前進したものの、その関連法案を早期に成立させるための動議については否決した。重要法案の審議には時間をかけるべきとの議員が多く、関連法案の早期の承認は遠のいている。これを受けて、ジョンソン英首相がこだわっていた10月31日での離脱は難しい情勢となった。

ジョンソン英首相は10月末の離脱に意欲を見せているものの、どうなるかは先が見えずに混とんとしている。E Uのトウスク大統領はE U各国に対して、離脱期限の延長に応じるように呼び掛けている。仮に離脱が1月まで延期された場合は、英国で総選挙が実施される可能性がある。英国のE U離脱を巡る混乱が続くとは、各国の株価に圧迫要因となり、ドル円にも重石となろう。

C M E F E Dウォッチでは、10月29～30日の米連邦公開市場委員会（F O M C）での利下げ確率は25日時点では93%前後で推移している。米経済指標も米中貿易摩擦の影響が出てきており、景気減速への警戒感も高まりつつあり、利下げの可能性が一段と高まっている。もっとも、今回の利下げはかなり織り込まれているとみられ、ドル円への影響は限定的となりそうだ。

24日に米国のペンス副大統領が対中関係に関して講演を行ったが、米中関係を過度に刺激するような内容とはならなかった。ペンス副大統領は今年の講演で、中国の行動を強く批判したことで、中国からの反発を招いており、今回の講演内容が注目されていた。

米中貿易協議に関しては、米通商代表部（U S T R）のライトハイザー代表が米中貿易協議の第1フェーズの合意について「解決すべき課題が残されている」と指摘している。これに関しては、25日に米中の電話による閣僚級協議が予定されていると報じられている。11月にチリで開催されるアジア太平洋経済協力会議（A P E C）首脳会議で、首脳間の署名を目指す方針が示されている。

英国のE U離脱や米中貿易協議関連については、とりあえず落ち着きを見せており、市場を大きく動かすような材料とはなっていない。目先はF O M Cや、米国第3四半期内総生産（G D P）速報値、米雇用統計、米I S M製造業景況指数などの注目度の高いイベントや経済指標に左右されやすい展開が見込まれる。

10月30～31日の日銀金融政策決定会合では金融政策に変更はない見通し。市場への影響は限定的とみられる。ただ、一部にはマイナス金利の深掘りなど、追加緩和を予測する向きもあり、金融政策が現状維持となった場合、失望感から若干円高が進む可能性もある。ただ、それも一時的なものにとどまりそうだ。

米国の経済指標は伸びの鈍化や下振れが警戒されるものの、株価は堅調に推移しており、ドル円は極端な円高には振れにくいとみられる。大きく上昇する強さには欠けるものの、堅調な株価も下支え要因となり、ドル円は107～108円台での一進一退の動きとなりそうだ。ドル円の目先の予想レンジは、107．25～109．25円。

今後の日米の経済指標やイベントとしては、29日に米8月S & Pケースシラー住宅価格指数、米10月消費者信頼感指数、30日に日本9月小売業販売額、米M B A住宅ローン申請件数、米10月A D P雇用統計、米国第3四半期G D P速報値、米連邦公開市場委員会（F O M C、29～30日）政策金利、パウエル議長記者会見、31日に日本9月鉱工業生産指数速報値、日銀金融政策決定会合（30～31日）金融政策発表、日銀展望レポート発表、黒田日銀総裁記者会見、米新規失業保険申請件数、米第3四半期雇用コスト指数、米9月個人所得・支出、米10月シカゴ購買部協会景気指数、1日に日本9月雇用統計、日本9月有効求人倍率、米10月雇用統計、米10月I S M製造業景況指数、米9月建設支出などがある。

【ユーロドルは上値の重い展開か】

英国のEU離脱に関する交渉が順調に進んできたことがポンドの支援材料となっている。ただ、英議会で審議日程の短縮については否決されたことで、10月31日のEU離脱が困難となり先行き不透明感が広がっている。これを受けて、ポンドドル、ポンド円ともに上昇が頭打ちとなり、これに追隨して上昇してきたユーロドルやユーロ円も上げ一服となっている。

24日に開催された欧州中央銀行（ECB）理事会では金融政策の現状維持を決めた。ドラギ総裁は任期最後の記者会見で、「下振れリスクは顕著、インフレは抑制されている」「ユーロ圏経済の成長見通しを取り巻くリスクは依然として下向きに傾いている」「長期にわたり高度の金融緩和スタンスを取る必要がある」「あらゆる政策手段を調整する用意がある」などと述べた。ユーロドルは一時的に上昇した後は下げに転じることとなった。

24日に発表されたドイツやユーロ圏の購買担当者景気指数（PMI）は製造業、非製造業いずれも下振れしており、ユーロ圏の景気減速への警戒感は一段と高まっている。ユーロドルは最近までの上昇が急だったこともあり、これ以上上値を大きく伸ばしにくいとみられる。このため、目先は上値の重い展開が見込まれる。ユーロドルの目先の予想レンジは、1.1000～1.1200ドル。

日米以外の今後の経済指標やイベントは、28日に中国共産党・第19期中央委員会第4回総会（4中総会、28～31日）、30日に豪第3四半期消費者物価指数、スイス10月KOF先行指数、独10月雇用統計、独10月消費者物価指数速報値、カナダ銀行（BOC）政策金利、31日に豪9月住宅建設許可件数、中国10月製造業購買担当景気指数（PMI）、ユーロ圏9月雇用統計、ユーロ圏10月消費者物価指数速報値、ユーロ圏第3四半期域内総生産（GDP）速報値、カナダ9月鉱工業製品価格、1日に豪第3四半期生産者物価指数、中国10月財新製造業購買担当景気指数、スイス10月消費者物価指数、スイス9月小売売上高などがある。

MINKABU PRESS 佐藤昌彦

※投資や売買については御自身の判断をお願いします。

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については伴線を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。